

科目名 (科目番号)	放射線医療 リスクマネジメント論 (時間割参照)	教員名 中里 一久	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		水5	B314研究室	
授業概要	診療放射線技師は、医療従事者の一員として他職種と連携しつつ、患者にとって安心できる医療サービスを提供しなければならない。医療を実践する上で、“医療の安全”の確保は、医療専門職として最優先しなければならない重要な使命である。近年医療事故の報告が日常茶飯事となっているが、医療事故は本来あってはならないことであり、これからの医療専門職にはますますリスク管理の能力が要求されてくる。本講義では、医療事故を未然に防ぐための取り組み、および事故の再発防止に関する医療リスクマネジメント技術について概説する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	リスクマネジメント (risk management)	到達目標: Risk Managementを学習する意義と活用場面は何かを理解する。 学習内容: リスクマネジメント(Risk Management)とは何か、について学習する。				
	2	「リスクマネジメント」と「危機管理」	到達目標: 「リスクマネジメント」と「危機管理crisis management」の区別を正確に理解する 学習内容: 一般的には混同されて使用されている「リスクマネジメント」と「危機管理」の相違について学習する。				
	3	インシデント・アクシデントレポート	到達目標: インシデント・アクシデントレポートの相違を理解する。 学習内容: インシデント・アクシデントレポートとは何か、目的と活用について学習する。				
	4	医療過誤・医療事故・医療訴訟	到達目標: 医療過誤・医療事故の防止と医療訴訟の回避について理解する。 学習内容: 医療過誤・医療事故とは何か、また、医療訴訟に及んだ場合の対処法等を学習する。				
	5	放射線診療領域における事故防止策について	到達目標: 事故防止に関わるリスクマネジメントの役割を理解する。 学習内容: 放射線診療領域におけるリスクマネジメントの実践論について学習する。				
	6	安全な医療システムの構築法	到達目標: ヒューマンファクター工学による安全なシステムの設計の基本を習得する。 学習内容: 人間性信頼工学(ヒューマンファクター工学)を応用することにより、ヒューマンエラーに起因する事故の防止に対応できるシステムの構築について学ぶ。				
	7	放射線診療領域における安全文化について	到達目標: 事故防止における安全文化の醸成の役割を理解する。 学習内容: 放射線診療領域における安全文化論を学習する。				
	8	放射線リスクマネジメント論総論	到達目標: 放射線診療の適用および最適化における問題点をリスクマネジメントの立場で考察できるようにする。 学習内容: 患者の受ける放射線被ばく(医療被ばく)について、放射線防護学的評価と解析が必要であることをリスクマネジメントの側面から学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	医療安全管理者必携 新版 医療安全管理テキスト		飯田修平 編		日本規格協会		
参考図書	(1)医療安全管理学 (2)ヒューマンファクター概論		(1)佐藤幸光、東村亨治 編 (2)佐相邦秀		(1)オーム社 (2)オーム社		
教員からのメッセージ	リスクマネジメント(risk management)の基礎を学び、応用できる「物の考え方や論理性」を、医療現場において如何にして活用し、実践していくかを学ぶ。また、医療現場におリスクマネジメント(risk management)的方法を可視化し、医療事故等の防止の実現について学ぶ。						